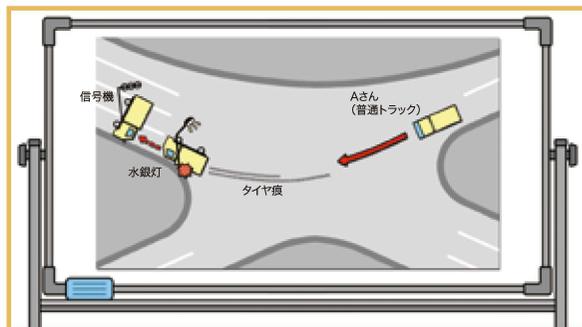


事故事例をもとに安全運転のポイントを紹介。社内での安全運転活動にお役にください。

事故に
至るまでの
状況

Aさん(男性、普通トラック、40代)は、まだ暗い早朝、往復2車線道路を走行中、変形交差点に差し掛かりました。その時Aさんは、何を思ったか急にハンドルを右に切ったため、車体はバランスを崩して交差点左側の水銀灯に荷台が衝突、そのまま左側面を下に横転してしまいました。そのあと横転状態のまま慣性で前に押し出され、信号機に衝突したことで停止しました。その時、運転席が大破するほどの衝撃により、Aさんは亡くなりました。

事故現場
略図



事故の原因

タイヤ痕などから、急激なハンドル操作があったことは確認されましたが、本人が死亡しているのでなぜ急にハンドルを切ったのかまではわかりませんでした。また、積み荷は積載重量内でしたが、タイヤ痕の付き始め直前の速度がタコグラフから65km/hだと

分かりました。制限速度は50km/hなので15km/hの速度オーバーでした。このことから早い速度で急ハンドルを切ったことで車体のバランスを崩し、事故に至ったと推察されます。

安全運転に向けて指導のポイント

トラックなど、車体が大きく重い車は、速度を上げれば上げるほど、急ブレーキや急ハンドルなどの操作で挙動が不安定になります。そのことを十分に考慮して

運転するようにしましょう。普段から速度の出しすぎに注意し、「急」がつく操作をしなくてもいいように前方を注視しながら、危険予知運転を心がけましょう。

今月の安全メモ!

・速度の出しすぎに注意しよう! ・危険予知運転を行い、「急」がつく操作はやめよう!